



2015 ~ 2016 年度
R I テーマ

Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン (国籍・スリランカ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ 別府亀の井ホテル 〒874-0936 別府市中央町5-17
TEL (0977) 22-3301 FAX 21-1232
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	平野 教康	理事	西馬 良和	役員	会長	平野 教康	S A A	前田 哲矢
〃	梶原 和朗	〃	村津 忠久	副会長	梶原 和朗	直前会長	前田 哲矢	
〃	後藤 隆	〃	亀井 孝	幹事	佐々木久宜			
〃	森園 伸也			会計	衛藤 秀子			

VOL. 28 - 17
2015年11月17日

第1256回例会

会報委員長 堀 由美

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S 手に手つないで
- ◆唱 歌 まちぼうけ

◆出席報告

		委員	前田 哲矢
本日 の 出 席	会 員 総 数		28 名
	出 席 者		15 名
	事前メイクアップ		0 名
	理 事 会 承 認		0 名
	出 席 免 除		4 名
	欠 席 数		9 名
	出 席 率		62.5 %
前々 回 の 訂 正	出 席 率		80.77 %
	事後メイクアップ		2 名
	理 事 会 承 認		0 名
	出 席 免 除		2 名
	修 正 出 席 率		88.46 %
10/27	連 続 一 回 通 算	750 回	100 %

会長の時間 会長 平野 教康

皆さん、こんにちは会長の平野です。
今日の卓話は、(株)ウッドハウスの氏田社長が来られる予定でしたが、体調不良のため来られなくなったので私がいたします。身近な保険の話です。宜しく願いいたします。

幹事報告 佐々木久宜

一ロータリー財団月間一

1. 本日の卓話
「会員卓話」平野教康会長
2. 「第5回定例理事・役員会」報告
(平成27年11月10日(火)例会終了後～
於：亀の井ホテル 8名)

・メイクアップ

事前
事後 土谷、梶原 (近隣7RCソフトボール大会)
欠席 中尾、森園、西林、島田、佐藤、
高宮、土谷、梅津、平野(英)
出席免除 溝部、河村、木村、衛藤



審議事項

- 1) 「歴代会長・幹事会」開催の件。※承認
- 2) 「忘年会」開催の件。※承認
 日 時 平成27年12月15日(火) 18:30～
 場 所 ホテル山水館
 会 費 10,000円
 *会員8,000円+例会食費補助2,000円
- 3) 「新年会」開催の件。※承認
 (※例会前に「第7回定例理事・役員会」を開催致します。)
 日 時 平成28年1月12日(火) 18:30～
 場 所 割烹旅館 ゆめさき
 会 費 12,000円
 *会員10,000円+例会食費補助2,000円
 ※プレゼント交換 1,000円程度
- 4) 別府市内4RC合同例会の件。※承認
 日 時 平成28年2月23日(火) 12:30～
 場 所 亀の井ホテル
- 5) 「別府青年会議所創立40周年記念式典」「別府市長就任祝賀会」ご祝儀・会費の件。
 ※承認 (スマイルより)
- 6) 11月・12月例会予定の確認
 11月3日 「法定休日の為休会」
 10日 「自己紹介」田添靖剛会員
 17日 「ゲスト卓話」氏田善宣氏
 (WOOD HOUSE(株)代表取締役)
 24日 「会員卓話」西馬良和会員

- 12月1日 「 」
- 8日 「年次総会」
- 15日 「忘年会」
- 22日 「 」
- 29日 「定款第6条第1節(C)に基づき休会」

- 7) その他
 ○善行表彰の件。※今回は小学生のみ
 ○ソフトボール ミット購入 ※親睦より支出
 ○溝部学園70周年スタンド花寄贈 ※承認

3. 11月15日(日) 10:00～別府の森ゴルフ倶楽部に於いて別府中央RC親睦ゴルフコンペを開催致し、近藤賢司会員が優勝致しました。
 参加者：亀井孝、河村貴雄、近藤賢司、前田哲矢、土谷昌志、梅津圭二 各会員

4. お祝い
 皆 勤 梅津圭二会員 (11月13日 = 3年)
 島田光男会員 (11月13日 = 3年)

5. 例会変更のお知らせ
 大分1985RC 11月30日(月)の例会は、夜例会の為 同日18:30～にしおかに時間・場所変更

6. 次週例会の予定
 「会員卓話」西馬良和会員

7. 本日の回覧
 ① ハイライト米山188
 ② 「忘年会」出・欠席
 ③ 「障害者作業所ゆけむりよりしめ縄・加工品販売」のご案内

8. 本日の配布
 ① 週報No.1255





スマイルボックス 委員長 近藤 賢司

○鳴海会員

先週は休ませていただきましたが、11月10日の午前中、医療センターでわたしの命の恩人とも言えるべき循環器内科の重松先生に久しぶりに精密検査をして貰い、すべてコントロール良好で、まだまだ張り切ってやれる自信がつかしました。すべてに感謝してスマイル致します。

○村津会員

この一週間、平穏無事でした。
感謝してスマイル。

○前田会員

来週の例会、東京出張で休みます。事後メールでキャップします。ゴルフも楽しんできます。

○森会員

私の都合で、ゴルフしない、ソフトボールやらない、夕方以降の宴会に出ない…。う～ん、なんだかつまらんなあ。来年は何か考えます！

○後藤会員

あまりにも寂しいので1口。

○近藤会員

先日の当クラブのゴルフ大会に優勝することができました。私にとって優勝したことよりも前田さんと土谷さんと一緒に楽しくプレーしたことがなによりの喜びです。スマイル！

○梶原会員

11月15日日曜日、ついにマイグローブを買いました。来年はガンバルぞ～！勝利にスマイル。

P.S. キャッチャー用ミットと面も注文中です。後藤さんガンバ！なぜ？

卓 話

平野 教康

今日は皆さんに身近な生命保険についてお話しします。

保険は戦後の女性の仕事として始まりました。30年ぐらい前から外資系(アフラック等)が参入してきて男性が保険募集を行うようになりました。

近年の保険はパンフレットなども3年近く変わらなかったのが毎年新商品が出てくるようになりました。20年前までは治療負担が1割だったのが3割負担となり死亡保険重視から生きている間の医療保険や年金保険に変わってきました。医療保険には先進医療特約が数年前からでて今注目されています。

もしご自身の保険の中に漏れているのなら保険担当の方に相談してください。保険料数百円で付加できます。社会保険がきかないので先進医療の治療した場合2百万から4百万弱のお金を請求されます。

病気やケガ等で治療や入院の際は保険担当に相談したほうが良いと思われます。

例で言うと大腸ポリープの手術をした場合病院に入院した際は日帰りでも1日入院とみなされ入院費がでます。これに対し入院ベッドが無い医院にかかった際には手術代しか出ません。より良く保険金をもらおうとしたならば病院、整形外科病院等にいきましょう。

アフラックの新しい医療保険はガン、心筋梗塞、脳卒中になった場合以後の保険料は一生払わなくてよいです。また糖尿病等にかかっている人でも申し込みができる商品があります。

会員様の中にも私のお客様もいますが、保険の相談もあればいつでもお受けします。つたない話ですがご清聴を感謝します。





再びロータリー財団について

ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎えることを踏まえ、改めてロータリー財団の歴史を振り返ってみたいと思います。

国際ロータリーとロータリー財団

ロータリーは国際ロータリー (Rotary International = RI) とロータリー財団 (The Rotary Foundation = TRF) を車の両輪にたとえて活動しています。

ロータリー財団に関するわたしの記述 (ロータリー探究より)

ロータリー財団～その進展と輝かしい業績～
NO.119 2003/11/6

ロータリー財団への寄付
NO.120 2003/11/13

ロータリー財団月間 (The Rotary Foundation Month) にあたって
NO.219 2005/11/13

ロータリー財団の輝かしい業績
NO.220 2005/11/20

ロータリー財団を一層理解するために
NO.264 2006/11/12

ロータリー財団の使命とプログラム
NO.315 2007/12/23

ロータリー財団の未来の夢
NO.357 2008/11/28

ロータリー財団のわかりやすいリーフレットと、
ロータリーに貢献する 「ロータリーカード」
NO.395 2009/12/6

財団の成長

1917年、アーチC.クランプRI会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案、この基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団にいたっています。

1929年、財団は初の補助金500ドルを国際障害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリアンだったエドガーF “ダディー”アレンが創設したもので、後に「イースター・シールズ」(米国の慈善団体)となりました。

1947年、ロータリー創設者のポール・ハリスが

亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。

財団プログラムの変遷

1947年

財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study (高等教育のためのフェローシップ)」を開始。このプログラムは後に「国際親善奨学金」として知られるようになりました。

1945～66年

財団が新たに「研究グループ交換 (GSE)」「Awards for Technical Training (技術研修のための補助金)」「Grants for Activity in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation (ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金、後の「マッチング・グラント)」の3つのプログラムを開始しました。

1978年

「保険、飢餓追放、人間性尊重 (3 - H) 補助金プログラム」を開始。3 - H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種が実施されました。

1985年

全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス・プログラム」が設置されました。

1987～88年

初めての平和フォーラムが開催され、これが「ロータリー平和フェローシップ」創設のきっかけとなりました。

2013年

世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル (地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント) が導入されました。

1917年に26ドル50セントの寄附から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうした多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

以上 国際ロータリー資料参照

ロータリー情報

鳴海淳郎先生のロータリー探究NO.537 2015/7/16 「再びロータリー財団について」を掲載させて頂きました。